

## 今後の議論の進め方について（案）

- 「歯科医師の資質向上等に関する検討会」は平成27年1月に設置し、ワーキンググループにおける議論を含め、主に歯科医師の需給問題を中心に議論を重ねてきた。
- この間、医師・看護師においても需給に関する議論が継続的に行われているが、10月3日より、「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」（以下「働き方ビジョン検討会」）が開催され、医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、医療従事者の新しい働き方の検討が行われている。
- 歯科においても、高齢化の進展や歯科医療を取り巻く環境の変化に伴って、歯科医療の需要にも既に変化が生じており、提供体制についても、外来中心であった歯科医療の提供体制は、在宅歯科医療や医科入院患者に対する歯科医療等の様々な提供体制が必要とされており、歯科医師の求められている役割や働き方、キャリア形成に関する考え方も変わってきている。
- こうした視点や働き方ビジョン検討会での検討経過を踏まえつつ、本検討会では、これまでの議論に加え、下記について具体的に検討を行い、今後の歯科医療（歯科医師）の需要と働き方を含めたあるべき歯科医療提供体制を提示し、イメージ図を作成する。

## （今後の検討事項）

- ◎ 我が国の歯科医療を取り巻く状況の変化を踏まえた新たな歯科医療の在り方

例) 歯科医療の新たな需要について

- 各ライフステージにおける新たな歯科医療の需要
  - ・ 小児に対する予防や口腔機能（咬合）の発育
  - ・ 成人及び高齢者に対する口腔機能（咬合）の維持・向上
- 歯科医療が必ずしも十分に提供されていない患者の需要
  - ・ 通院が困難な患者
  - ・ 基礎疾患を有する患者（入院患者含む）

新たな歯科医療の供給体制について

- 歯科診療所（歯科医師）における歯科医療の提供
  - ・ かかりつけ歯科医の役割と考え方
  - ・ 在宅歯科医療を行う歯科診療所の考え方
- 歯科診療所以外における歯科医療の提供
  - ・ 在宅歯科医療の提供方法
  - ・ 介護保険施設入所者に対する歯科医療の提供体制
  - ・ 医科入院患者に対する歯科医療の提供方法
- 地域連携を念頭においた歯科医療の提供
  - ・ 医療 ICT による連携を念頭においた歯科医療の提供方法